

役 員 (7名)	理 事 (13名)
会長 古川 靖明	会長 古川 靖明
直前会長 一由 麻里	直前会長 一由 麻里
会長エレクト 田原さおり	会長エレクト (会員組織委員長) 田原さおり
副会長 西村 智子	副会長 (クラブ運営委員長) 西村 智子
幹事 滝川 晃	幹事 滝川 晃
会計 新井繁太郎	会計 新井繁太郎
S A A 城戸総一郎	S A A 城戸総一郎
	理事 (副幹事) 前田 興二
	理事 (職業奉仕委員長) 横谷 英二
	理事 (社会奉仕委員長) 内藤 恵
	理事 (国際奉仕委員長) 河村 幸司
	理事 (青少年奉仕委員長) 山村 安徳
	理事 (無任所) 戸田 尊文



東大阪東ロータリークラブ LINEアカウント

下記のQRコードより、新しいLINEアカウントを登録していただきますようお願いいたします。

【登録方法】

1. 下記QRコードをスマートフォンで読み取る
2. 表示されるLINEアカウントを「友だち追加」



ロータリーソング

われら日本ロータリアンの歌

われら日本 ロータリアン
一つの仕事をする時も
真心こめて考える
これは誠か真実か



CLUB WEEKLY No.2875

国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツソ



会長 一由 麻里

「私たちらしさを大切に。
私たち独自の行動から生まれる奉仕」
を目指そう！



職業奉仕月間

例会日: 2026年1月22日
(令和8年1月22日)

今日の例会

2026年1月22日

来週の例会

■ 第2回クラブフォーラム

「参加したい例会作りとは」

■ 1月29日(木) 休会

■ 今日の歌 「われら日本のロータリアンの歌」

■ 2月5日(木) 卓話 「ロータリー研究会について」 大橋 秀典 君

■ 例会後 2月度定例理事会

会長の時間

一由会長

ロータリアンの三大義務とは？

ロータリークラブに入会し、会員になると、いくつか果たさなければならない「義務」があります。

いわゆる、三大義務と言われるもので。会費納入、雑誌購読、例会出席です。

義務の第一と言われる例会出席。

では、例会とは、会員同士の親睦を深め、奉仕活動の報告や卓話を通じて学びや交流を深めるための重要な機会です。

会員は例会への出席が義務付けられ、食事をしながら、活動報告や職業観を語り合い、地域や世界の課題解決に向けた意識を高める場であります。

毎週顔を合わせることで、会員がクラブに馴染み、一体感が生まれ、卓話や交流を通じて仕事のヒントや人生観の拡大や奉仕の喜びが生まれる。

今は、オンラインでズーム参加も出来ます。

例会に参加する会員の人数が増えるには…

新人会員の例会参加を増やすには…

例えば、自クラブの例会に欠席した時、前14日間、後14日間以内にどこか他のロータリークラブの例会に出席する「メークアップ」という方法を周知する、など…

今年2026年の例会出席 よろしくお願い致します。



幹事報告

新井幹事

«これからの予定»

- 【1】本日、第2回クラブフォーラム
- 【2】1/24(土)地区ロータリー財団補助金管理セミナー(古川会長エレクト出席)
- 【3】1/25(日)東大阪小学生カルタ大会
- 【4】1/27(火)衛星クラブ例会 19:00~
- 【5】1/29(木)休会
- 【6】2/5(木)例会後、2月度定例理事会

«連絡事項»

- 【1】次週29日(木)は休会です。例会はございませんのでよろしくお願ひいたします。
- 【2】2/1(日)~3(火)はホテルセイリュウは全館休館となります。2日(月)は電話関係の工事のため、終日電話が繋がりませんのでよろしくお願ひいたします。



心に残るロータリアンの言葉

「ロータリーの危機」

ロータリーに魅力がない。ロータリーに入っているメリットがないと考える会員が表向きの経済不況を理由に次々と辞めていくという現象が見られるような気がしてなりません。またロータリーの知名度がだんだん低下して、一般社会の人たちも、ロータリーの存在を知らない。このような状況の中で、ロータリーの方も焦りまして、入会の基準を緩めたり、メーキャップの期間を延長したり、またあまり難しいことを言って折角得た会員が辞めたら困るということで、ロータリー教育をほとんどしないという状況の中で、だんだんロータリーの質が落ちて来ている。そんな状況に嫌気がさして今度は素晴らしいロータリアンがロータリー・ライフに見切りをつけて辞めて行く。

しかし、ロータリーの歴史をたどってみると、ロータリーの危機が訪れたのは今回が初めてではないのです。今まで何回も危機が訪れている。その危機をロータリアンの英知によって克服しながら現在まで生き延びて来たという歴史的な事実があるわけです。そして今日の危機を「第4の危機」と私は言っています。

今回の傾向は、特に退会者が若い会員、入って年数が浅い会員に多いのが特徴ではないかと思います。日本とアメリカの共通する会員減の原因是、ロータリー活動の中からロータリー哲学であるべき奉仕理念が飛んでしまったことがあるのではないかと思います。

2番目に例会の形骸化があろうかと思います。私達のような世代と、それから、団塊の世代と、その以下の世代と全然考え方方が違うのです。

1957年に私どもの直木太一郎PGが、彼のガバナ一年度に

「今しばし拡大を留めよ、今こそ原石を磨く時だ」と表現しています。昔も一緒なのです。

しかし、真理はあくまで真理です。だから先達の努力、考え方に対する敬意を示しながら、それに対して



台北旭日RC 北山 治信 様



バリタマンRC 加藤 恭子 様



大阪南RC 伊藤 芳晃 様

いっぺんよく聴く耳を持つというのが絶対必要です。そのためにロータリー教育が必要なのです。ですから、中途半端なロータリー論を打つのではなく、とことんまでロータリー論が展開できるまで教育していくのが大事なことではないかと思います。

田中 毅 2680地区PDG 2000年RC研究会にて

次年度RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ氏より、

2026-27年度の会長メッセージが発表されましたので、皆様にお知らせいたします。

【2026-27年度 RI会長テーマ】

「Create Lasting Impact」

(和訳:持続可能なインパクトを生み出そう)

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません」

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」

出席報告

1月15日

(1/15)の出席者数:22名(0)

ビジター3名:台北旭日RC 北山 治信 様

バリタマンRC 加藤 恭子 様

大阪南RC 伊藤 芳晃 様

1/15 出席率:52.38%

※()内数字は出席免除会員の出席者数

会員:48名(免除6名)

	12/25	1/1	1/8
HC出席	休会	休会	22(0)名
MU出席			3(0)名
修正出席率			56.82%